

国立駅南口子育ち・子育て応援テラスの概要

1. 施設の概要

住 所：国立市中1丁目1番地の47の一部 賃貸住宅棟の1階の一部

延床面積：約700㎡

構 造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上1階

用 途：児童福祉施設等

開設年月：令和7年7月

施設内容：① 子育てひろば 270㎡
地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、地域子育て相談機関

② 一時預かり室 55㎡
一般型一時預かり事業

③ 交流・学習スペース 60㎡
誰もが気軽に立ち寄れる場

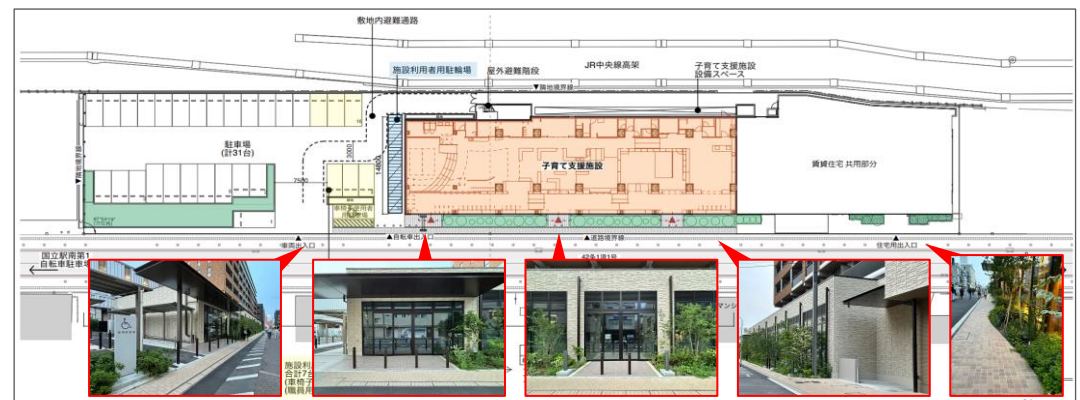
④ 情報ストリート 155㎡
子育て情報や地域情報発信の場

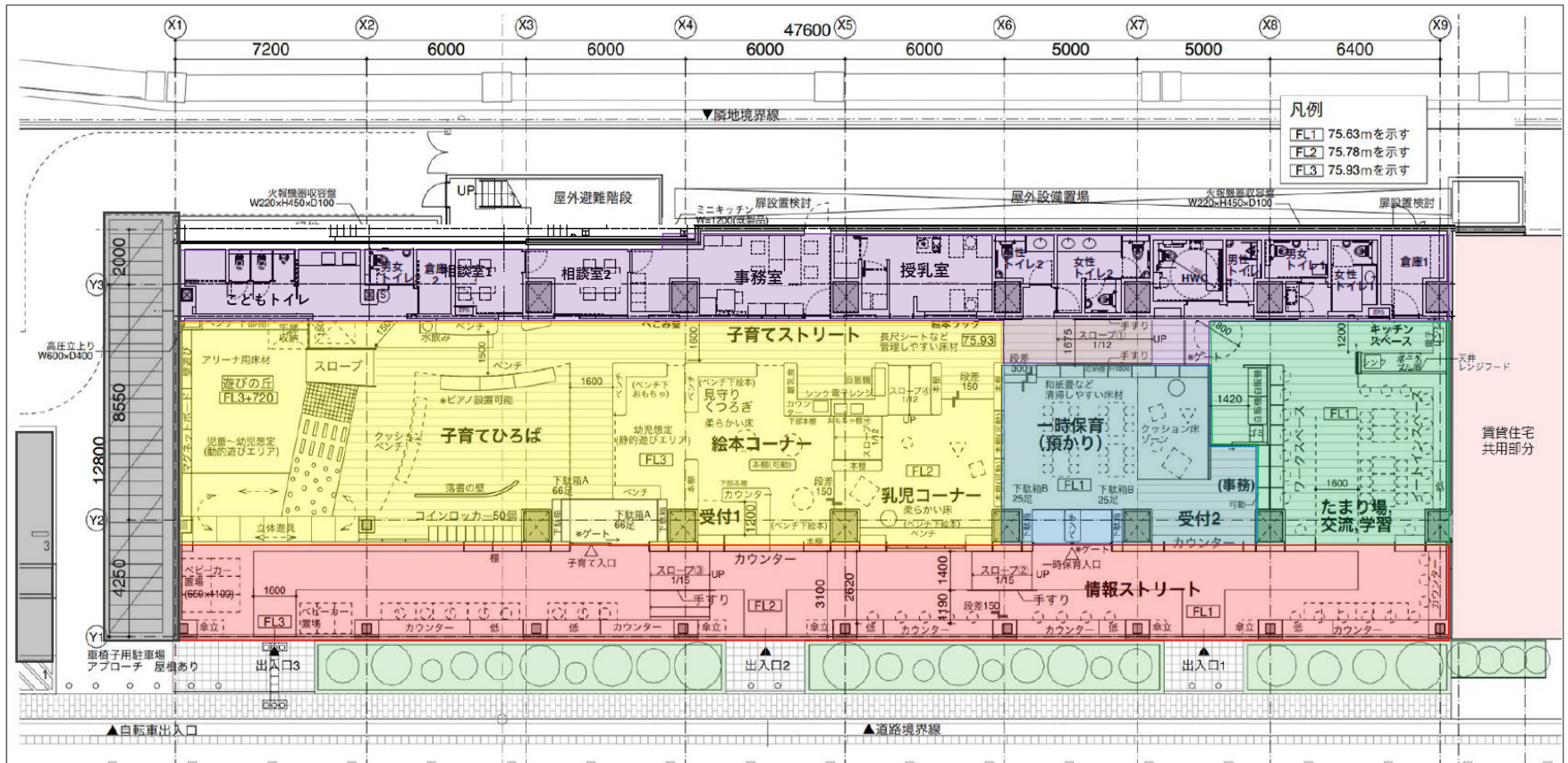
⑤ 駐車場 7台
利用者用5台、業務用1台、しょうがいしゃ用1台


⑥ 駐輪場 30台相当

⑦ その他（事務室、倉庫、相談室、トイレ等）160㎡

位置図





施設	休業日	開業時間	利用制限
 子育てひろば	毎週火曜日	10:00 ~ 17:00	土日祝等は市民のみ利用
 一時預かり室	毎週火曜日	10:00 ~ 17:00	市民のみ利用
 交流・学習スペース	毎月第2・4火曜日	9:00 ~ 22:00	制限なし
 情報ストリート	毎月第2・4火曜日	9:00 ~ 22:00	制限なし
 その他	—	—	—
 駐車場・駐輪場	毎月第2・4火曜日	9:45 ~ 22:00	制限なし

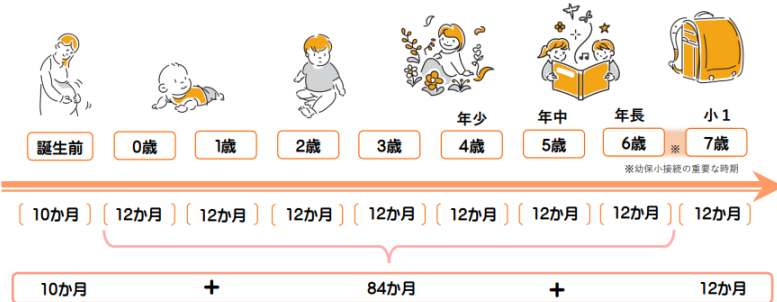
2. 施設全体のコンセプト

～ はじめの100か月も、その先の100年も ～ 子ども・親・地域がつながる、まちのテラス。

子どもと親の声をまんなかにまちぐるみでつながり、幸せな人生の土台となる「はじめの100か月」を中心とした親子の育ちを「安心と挑戦の循環」で切れ目なく支えることで、すべての人のウェルビーイングを高め、子どもとまちの未来を照らす施設です。

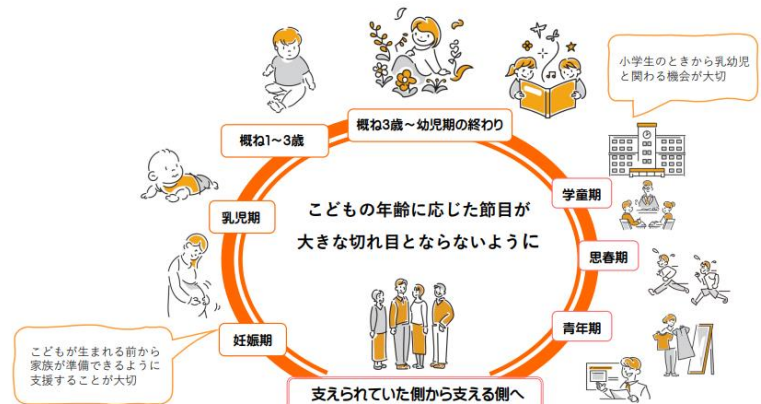
幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）（令和5年12月22日閣議決定）こども家庭庁より

「はじめの100か月」とは？



- ✓ お母さんがこどもを妊娠してから、小学校1年生の途中くらいまでが、だいたい100か月（※）。
- ✓ 長い人生において、人格の基盤を築く、はじめの重要な時期というメッセージが込められています。

『「こどもの誕生前から幼児期まで」は、人の生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も重要な時期である。全世代の全ての人でこの時期からこどものウェルビーイング向上を支えていくことができれば、「こどもまんなか社会」の実現へ社会は大きく前進する。これは社会全体の責任であり、全ての人々のウェルビーイング向上につながる。』



『一人一人のこどもの成長に目を向けると、誕生前後、就園前後、小学校就学前後と、いくつか大きな節目はあるものの、本来こどもの発達は一一人一人違うペースで、絶えることのない連続性の中で進む。「こどもまんなか」の発想に立ち返れば、年齢や学年の事情で引かれた線が、こどもの育ちの大きな切れ目にならないよう、環境（社会）の不断の改善を図っていく必要がある。』

コンセプトを実現する 3つの施設運営方針

01 みんなでつながり支えあう

スタッフとつながる

くにたちに住むすべての乳幼児のいる家庭とつながり、スタッフと親子が名前で呼び合える温かい関係性をつくることで、子どもが遊ぶ姿を見ながら、いつでも気軽に子育て相談ができる安心なつながりを太くし、親子の孤立を未然に防げる施設にします。

親子同士がつながる

施設を訪れた親子同士がつながり合い、支えあうような関係づくりを支援することによって、親子の孤立を防ぎ、みんなで子育てする楽しさと安心感を育み、気軽に支え合い、助け合うことが当たり前となる子育て文化を育みます。

地域とつながる

地域の商店や企業、団体、学校等とつながり、日常的に子どもと関わる機会がない人も含めて子どもと関わる機会をつくることで、子育て・子育てを支える社会の厚みを増し、全世代・地域全体で子育てを応援するようなコミュニティづくりを応援します。

02 「みずから育つ力」を応援する

子どもが育つ

子どもには「みずから育つ力」があります。子どもの多様な声をていねいに聴き、乳幼児教育の専門性を活かすことで、その力が発揮される「安心と挑戦の循環」をつくり、すべての子どもの主体的で個性的な育ちを応援します。

親が育つ

親自身にも「みずから育つ力」があります。子どもの育ちを共に喜び合える仲間と子育てしている安心感の中で、子どもにも自分にも「みずから育つ力」があることに気づき、あせらず、ゆっくり育ち合えるよう応援します。

地域が育つ

地域にも「みずから育つ力」があります。まちぐるみで子育て・子育てを応援される安心感と楽しさを感じた子や親たちが、次世代を支える循環、「支えられる側」から「支える側」への好循環をつくり出し、子育てしやすい地域が次第に成長していくプロセスを応援します。

03 育ちを切れ目なく支えあう

はじめの100か月を切れ目なく

はじめの100か月の間、親子とずっとつながり続けること、また、地域の子育てひろばや就学前教育施設、行政等と連携することにより、親子の環境が大きくかわる節目にも子育て・子育てを切れ目なく支えられる施設にします。

その先も「ふるさと」として切れ目なく

はじめの100か月の育ちの上に、その先も、「ふるさと」のように戻ってこることができる場として、また、親子の育ちの力の源として、施設が親子の育ちを支え続けることができるよう『矢川プラスのさまざまな活動と連携し、多世代交流や多様な学びの機会をつくりまします。

情報と学びの機会を切れ目なく

子育て・子育てに関する情報や学びの機会を切れ目なく得られるよう、地域に点在している子育て情報を収集するとともに、すべての人が、乳幼児の育ちや子育てについて学んだり、乳幼児と関わる体験ができる機会を保障し、地域の幼児教育への理解を高めます。